

第3回協議会だより 《東方部》



—令和6年1月17日（水）15:00～16:40 音楽・文化交流館 大ホール—

【実践発表】 セントポール幼稚園

「円滑な接続を見通したアプローチカリキュラムの実践」 「就学に向けた幼保と小の情報共有について」



「きこえないよ、どうして?・・・」



セントポール幼稚園は昭和31年に設立された歴史ある幼稚園です。「豊かな心」「のびのび教育」「はつらつ教育」の方針のもとすべての子どもが「自分は愛されている存在である」という自尊感情や信頼関係を育む保育を行っています。

今回は就学児童の日々の生活や遊び、行事の中から13の活動を紹介します。それらが展開していく過程で幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿が養われているか、自園のアプローチカリキュラムのねらいや内容が実行されているかを検証した発表でした。例えば上記写真（左）は糸電話を作って遊んでいるシーンです。遊びを通して思考力の芽生え、共同性などが育まれました。もつれた糸が張って耳を澄まして聞いた言葉は何だったのでしょうか・・・想像しながら子どもたちの笑顔を思い浮かべた事例です。園児たちは、たくさんの遊びから学びを深め、2月には薫小学校へ学校見学に行き、就学への期待を高めます。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ セントポール幼稚園の発表について

- 先生が主になって教えるのではなく、異年齢児も含めた子ども同士の関わりで遊びが発展し、先生は子どもの気持ちに寄り添った言葉かけをしているので、とても良い雰囲気での保育が展開されていると感じました。
- 園長先生が「特別な保育ではありません。普段の生活を紹介します。」とおっしゃっていましたが、先生方の保育に対する姿勢が、生きる力の基礎を育てていると思います。

☆ テーマ「円滑な接続を見通したアプローチカリキュラムの実践」

「就学に向けた幼保と小の情報共有について」

- アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへスムーズに接続できるように、幼保と小の連携が重要と思われます。
- 就学先へ要録を送付し、実際に教員が児童の状況を聞き取る等の連携を図っています。

《参加者からのアンケートから》

- 幼稚園、保育園の様子を直に聞くことができ良かったです。連携の仕方などをもっと具体的に話し合う機会があれば良いと思います。総合教育支援センターからの資料はとてありがたいです。ありがとうございました。（小学校：参加者）
- 改めてアプローチカリキュラムの重要性を感じました。この会はたくさんの情報共有ができて、とても良い会です。来年度も機会あるごとに参加したいです。（保育所：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。